

平成28年8月1日

各 位

上場会社名	アールビバン株式会社
代表者	代表取締役会長兼社長 野澤 克巳
(コード番号)	7523)
問合せ先	取締役経営企画室長 樋口 弘司
(TEL)	03-5783-7171)

**タラサ志摩とカルナが合併し、
T S Cホリスティック株式会社としての
新スタートに関するお知らせ**

当社の連結子会社であるタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社とカルナフィットネスアンドスパ株式会社を本日、平成28年8月1日付で合併し、併せて、存続会社の商号を「T S Cホリスティック株式会社」に変更いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。



タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社とカルナフィットネスアンドスパ株式会社が合併し、
TSCホリスティック株式会社として
新たなスタートを切ります。

当社グループは1. アート関連事業、2. 金融サービス事業、3. リゾート事業、4. 健康産業事業の4つの事業領域を展開しております。

この4つの事業領域が複雑に絡み合い、さらなる成長を実現する成長モデルを掲げております。

その一環としてタラサ志摩において、健康産業分野における相乗効果をより強固にするため、健康産業事業分野における①顧客・②サービス・③従業員、サービスを一体化し、戦略的に強化をするため、組織再編を図り両者を合併することといたしました。

人類永遠のテーマである「心と身体の健康」に関わる事業基盤の拡充、シナジー効果をより高め、収益性、効率性の向上を図ります。

●リゾート事業

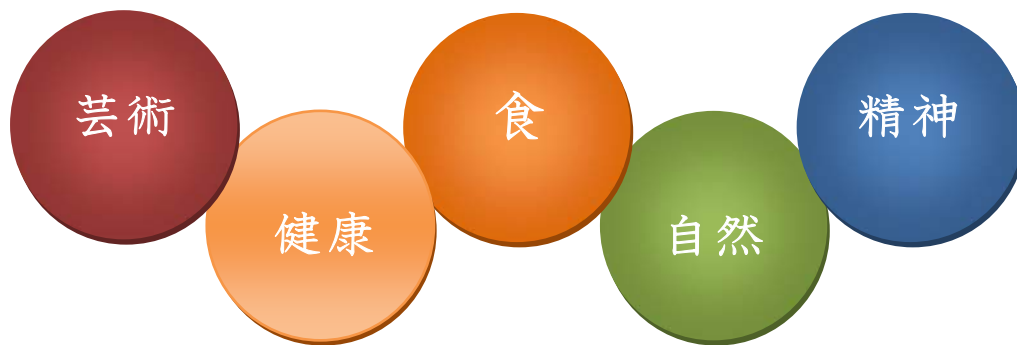
タラサ志摩 ホテル&リゾート（三重県鳥羽市）



タラサ志摩ホテル&リゾート（三重県鳥羽市浦村町白浜）は全室オーシャンビューと伊勢志摩の大自然に囲まれたリゾートホテルです。

HOLISTIC RESORT THALASSA SHIMA へ

タラサ志摩がご提案する新・五感



「新五感」は心身の調和をもたらし、本来の自分に回帰するきっかけをつくります。医師・セラピスト監修の月・海の自然の力に触れるトリートメントをはじめ、栄養士監修の健康でヘルシーな伊勢志摩地産地消の美食。鳥のさえずり・波の音や、オリジナル調合されたアロマや海の香りに癒されるロケーション。草間彌生をはじめとする現代アート作品と融合された空間など、ここでしか味わえない感覚を刺激します。より深く、身体の内側や心に触れることで、自分を見つめなおし、心身ともに健康で美しい状態を取り戻す。ホリスティックステイをご提案いたします。

■現代アート展示

■アートを取り扱うアールビバンならではの現代アート作品を多数展示

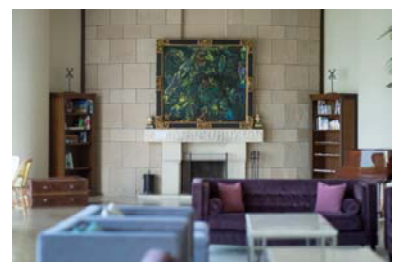
ホテルの敷地や館内には「シャガール」「アンディ・ウォーホル」「草間彌生」「村上隆」「奈良美智」など、**40点近く**の貴重な現代アート作品を展示し、2016年米誌タイムは毎年恒例となっている「世界で最も影響力のある100人」にも選ばれ、世界で活躍されている前衛芸術家、草間彌生の「南瓜」をはじめ全3点を展示しております。



草間彌生
「南瓜」



アンディ・ウォーホル
「Colored Campbell' Soup Can,1965」



シャガール
「Bestiaire et Musipue」

■日本で唯一無二の本格的タラソテラピー施設

■海がもたらす恵みを活かした海洋療法「タラソテラピー」

タラソテラピーという言葉は、「海」という意味を持つギリシャ語の Thalassa (タラサ) に由来し、日本語では海洋療法と訳されます。海辺の穏やかな気候の中、専属スタッフの適切な指導を受けながら、心身の疲れを癒しリフレッシュさせる療法システムで、フランスを中心にヨーロッパでは広く利用されています。タラサ志摩ホテル&リゾートは、そのタラソテラピーを日本で初めて体験出来る施設として誕生しました。



■東海初の水中ボディワーク「Watsu」(ワッツ)

世界中40カ国で今もっとも注目浴びている「Watsu」(ワッツ)

日本の経絡療法にインスパイアされて、アメリカで生み出された水中ボディワークです。ワッツでは、五感のすべてを通じて「非日常的な」リラクゼーションを ゆっくりと体感していきます。水の中で重力から解放されて身体が自由になっていく感覚は、他に比べようのないリラクゼーションです。水に「浮く」ということが導く異次元の体験に副交感神経を刺激し、脳波をアルファ波に沈静して深い瞑想状態へと促します。疲労した脳には極上のサプリメントとなり、ワッツの後の脳は、まるで重い荷物を下ろしたかのように、軽くスッキリと感じます。ワッツの「リセット」作用が、心も身体もリフレッシュ&デトックスしてくれるのです。



■ファスティングプラン

■6つのテーマに合わせたドリンクを元にしたデトックスプラン

体内環境を清浄化するファスティングプラン。6つのテーマに合わせた、栄養素たっぷりのコールドプレスジュースを元に美容や健康に欠かせない栄養素をしっかり摂り、体内に蓄積された有害物質を排出し、働き続けている内臓に休息を与えることができます。ムーンテラピーに基づいたタラソテラピー・エステも取り入れ、身体の内側からデトックスを行います。



■伊勢志摩ブランド 新鮮な食材を使ったヘルシーフルコース

■しっかり食べても太りにくい。糖質コントロールメニューの導入

日本一スピリチュアルな伊勢の土地と太陽で育った食材をふんだんに使用。またすべてのお食事は、さびない、ナチュラル、免疫力UP、志摩にこだわり、血糖値や代謝機能も考慮された栄養バランスとなっているので、しっかり食べても太りにくいメニューで、安心してお食事をお楽しみいただけます。低糖質メニューでは、カロリーを抑えることはせず、タラサ志摩自慢の新鮮な魚介類と、旬の野菜をベースにフランス料理の王道である良質な生クリームやバターを使ったフルコースのお料理で構成しています。



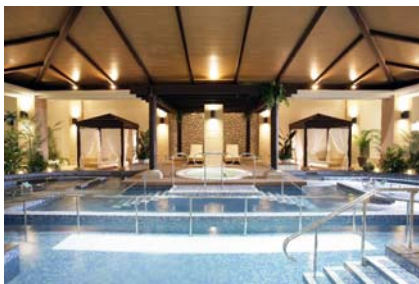
<タラサ志摩 ホテル&リゾートに関する営業関係のお問い合わせ先>

【TEL】0599-32-1111 【担当】マーケティングマネージャー 木下（タラサ志摩ホテル&リゾート）
〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町白浜 1826-1

【HP】 <http://www.thalasso.co.jp/>

●フィットネス事業

カルナフィットネス&スパ（千葉県柏市）/ららぽーと柏の葉本館4F



■リゾート×フィットネスの融合

■心とカラダに健康を 健康と美と癒しの総合フィットネス

「最高の施設と質の高いサービスを通じて、地域コミュニティを作りだし、心身ともに明るい健康生活の実現に貢献する」という理念の基、フィットネスクラブのカルナフィットネス&スパを運営しており、地域の皆様に【健康と美と癒し】の場としてご愛顧いただき今年で10周年を迎えることが出来ました。

館内には、バリの雰囲気漂うプールエリアをはじめ、牧野裕プロ監修のゴルフエリア、「イタリアのテクノジム社」のフィットネスジム施設「世界100選」に入賞しているジムエリア、お客様のニーズに合わせたエステサロン、地域最多数のプログラムを誇るスタジオを完備し、ららぽーと柏の葉内で約1,000坪の広さを誇る総合フィットネスクラブです。

■溶岩ヨガスタジオ設置 (2016年8月予定)

バリ島の溶岩石を使用した清々しいホットヨガスタジオ

カルナの溶岩スタジオは、床に敷き詰めたバリ島の溶岩石を温めることによって得られる遠赤外線効果と、室温 38~40℃・室温 60~70%に設定された環境で、身体の芯から温まり、たくさんの汗がかけるお肌に優しいホットヨガスタジオです。ガスヒーターを使用した息苦しい暑さとは違い、柔らかな温かさで呼吸を楽にして行うヨガはとても清々しい気分になります。(右記写真はカルナの通常のヨーガです)



<カルナ フィットネスアンドスパに関する営業関係のお問い合わせ先>

【TEL】 04-7168-1810 担当：喜多村 (カルナフィットネスアンドスパ柏)

【所在地】 〒277-0871 千葉県柏市 柏の葉キャンパス駅前 ららぽーと柏の葉本館 4階

【HP】 <http://www.carnaweb.com/>

● ヨガ事業

アミーダ（千葉県流山市）/流山おおたかの森 ハナミズキテラス 3階

■新展開 溶岩ヨガ・スタジオ アミーダ

女性専用ホットヨガスタジオ

ヨガ事業は今後店舗展開を予定している新事業です。

店名の「アミーダ」には、無量の光という意味を込め「魂に届くヨガは、人生を輝かせる」という理念を基に、仕事や家事でストレスを抱える女性に、ヨガを通じて自分自身に向き合う時間を作っていただきさらに美しく輝いていただきたいという願いを込めてつけました。

店舗の特徴として、バリ島の溶岩を床に用いて室温 35～40 度、湿度 65%程度の空間を作り、溶岩石の遠赤外線効果により、身体が芯から温まります。

リラックスできる環境で、女性が気になる脂肪燃焼、姿勢改善、美脚、デトックス効果のあるヨガやストレッチのレッスンを実施しております。

（右記写真はカルナのヨーガの写真になります）



<アミーダに関する営業関係のお問い合わせ先>

【TEL】 04-7168-1810 担当：前野（カルナフィットネスアンドスパ柏）

【所在地】 〒270-0137 千葉県流山市市野谷 665-40 ハナミズキテラス 3階

【HP】 <http://www.ami-ida.com/>

<上記各事業の営業関係以外のお問い合わせ先>

【TEL】 03-5783-7171 【担当】 アールビバン株式会社 経営企画室 樋口

【HP】 <http://www.artvivant.net/>